

# 第1回 日高地域デザイン 懇談会を開催しました

4月10日（土）日高農村環境改善センターで、「日高地域デザイン懇談会」を開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

はじめに市から、これまでの公共施設再編、公共施設マネジメントの取組みなどについて説明し、そのあと「日高地域内にある公共施設の現状と利用実態等の確認、共有」を行うため、参加者の皆さまに5つの指標（① 生活機能 ② 利用機能 ③ 経済機能 ④ 安全安心機能 ⑤ 風土形成機能）から各公共施設を診断していただきました。その結果を見ながら、意見交換を行いました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

## <懇談会の様子>



## 第2回地域デザイン懇談会開催のお知らせ

開催日時	開催場所	内容（予定）
2021年5月21日（金） 午後7時～	日高農村環境改善センター	地域住民の生活と身近な公共施設との関わり

### 【懇談会の傍聴について】

傍聴をご希望される方は、日高振興局地域振興課へ電話、Eメールにてお申し込みください。

- (1) 対象者：日高地域に在住・在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 42-1111 Eメール：hidaka-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年5月18日（火）

# 参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

- ◆ コミュニティセンターの休館日がすべて火曜日なのは良くないと思う。どこのコミュニティセンターも休みになっているので、うまく使い分けられたらと良いと思う。
- ◆ 八代小学校の存続を希望している。日高東中学校の建物自体が古く、安心・安全とは言えないが、避難所になっている。他地区の人が、避難先として八代に来られたこともある。
- ◆ 円山川防災センターについては、避難先としてどれだけの収容人数があるのかわからない。水害時に道路浸水した場合にたどりつけるのだろうか。
- ◆ 歴史博物館「但馬国府・国分寺館」については、風土に寄与していると思うが、市民の利用はどれくらいあるのだろうか。複合的な利用も考えてみてはどうか。
- ◆ 殿食材供給施設については、地元の人利用も多いが、都市部の人利用も多い。外貨を稼いでいる。後継者育成や広域的な地域食材の活用が広がると良いと思う。
- ◆ 湯の原温泉オートキャンプ場については、施設までの道が狭く、不便である。都市部の人利用が多く、予約ができないことがあり、外貨を稼いでいる。
- ◆ 清滝地区コミュニティセンターは、立地条件が悪く、盆地ではなく、坂の途中にある。坂の下の地区の利用者は少ないのでは。
- ◆ 西気地区コミュニティセンターは、地区住民の生活の中心である。小学校もなくなり、多くの人が集まれる「憩いの場」として必要である。
- ◆ 道の駅「神鍋高原」は、観光拠点として必要である。日高農林漁業体験実習館は、道の駅と一体化した建物となっている。
- ◆ 神鍋診療所については、診療所がなかった時期もあり、当時は不安だった。スキー客等観光客の事故対応のためにも必要性は高い。

## 【参加者アンケートより】

- ◆ 大変勉強になりました。今後色々なところに目を向けてみようと思います。
- ◆ 色々な施設があることがわかりました。各地域での活用ですが、交流人口が増える取り組みが必要かと思います。
- ◆ 判定基準がむずかしい。
- ◆ 楽しい時間となりました。
- ◆ ワークショップのやり方が工夫されていてよかった。多様な意見が聞けるのがいい。
- ◆ 話しやすい雰囲気良かったです！！
- ◆ 市内の施設等の場所が理解できた。
- ◆ 地域をよく知っている方だったので話しやすかった、意見も上手にまとめて発表して下さった。
- ◆ 新しい発見があった。(日高地区にたくさんの施設があることがわかった。)
- ◆ 地域の顔見知りの方が多く、楽しく意見交換できたと思う。コーディネーターの方も優しく説明して下さい、お話しやすかったです。

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

## 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129  
日高振興局 地域振興課 電話 42-1111